

芳名録の掲載について

※大正8年から昭和22年(芳名録第30巻)まで、本館創立以来約50年間分の記名者を記載する

※記帳事項は芳名録に記録されたもので、名刺や文章、絵、歌などの状況も記す

ただし著作権に関わるような形態の絵や歌、住所が特定できる番地などは掲載しない

※備考は本館で調査した加筆事項で、図書や新聞、インターネットの情報による

※文字が不明な場合は＝で表記する

芳名録巻	来館日			氏名	記帳事項	備考 職名など本館調査によるもの
	年	月	日			
S2	1927	3	4	和田 三造		洋画家 版画家 映画「地獄門」でアカデミー賞衣装デザイン賞受賞
S2	1927	3	5	臼井 國	海軍少将	のち海軍中将 広島海軍工廠長
S2	1927			Nicholus Walter		米人 海星学園第3代校長
S2	1927			Ferdinand R Sauer		同行 海星学園職員
S2	1927	3	6	奥田 直毅	朝鮮総督府図書館嘱託	号:鯨洋 朝鮮半島遺跡調査
S2	1927	3	8	平山 栄	海軍大佐	巡洋艦艦長
S2	1927	3	10	＝＝＝＝橘		
S2	1927	3	11	斎藤 斉		子爵 当時朝鮮総督のち首相の斎藤実の養子 三菱の豊川良平の5男
S2	1927	3	11	森 次郎		
S2	1927	3	12	瀧澤 彌三	兵庫県外事課長	内務官僚 警視庁特別高等警察課長 大分県知事 衆議院議員
S2	1927	3	12	清水 虎雄	警視庁警部	同行 保安部 警視庁特別高等警察
S2	1927	3	13	池田 団之進	佐賀県巡查教習所 外二十一名	警部補 佐賀県商工会議所理事
S2	1927	3	14	石原 専一	北海道庁特高課長	警察部警視 特別高等課長
S2	1927	3	14	藤井 博溪	内務省警保局	同行 愛知県議会議員
S2	1927	3	17	阿部 邦一	大阪府	大阪府警察部調停官調停課長 戦後公選の徳島県第2代知事
S2	1927	3	17	伊與田 数實	兵庫県特高課	
S2	1927	3	22	九鬼 三郎	千葉県学務部長	部長視学官
S2	1927	3	23	幸田 成友	東京	東京商科大学、慶應義塾大学教授 近代経済史、日欧交通史 大阪市史編纂主任 小説家幸田露伴の実弟
S2	1927	3	24	杉 政人	東京	海軍艦政本部第4部長少将 のち海軍中将 機関科出身の最高位
S2	1927	3	24	福島 四郎	陸軍歩兵少佐 男爵	陸軍大将福島安正の嗣子 少年団の指導者
S2	1927	3	24	山口 季次郎	少年団日本連盟	同行 少年団日本連盟創設者の一人佐野常羽のスタッフ 日本ボーイスカウト大阪府連盟創設
S2	1927	3	25	中澤 小次	茨城県属	知事官房
S2	1927	3	26	渋谷 週作	佐世保海＝ 海軍少佐	のち海軍少将
S2	1927	3	26	牧野 信之助	滋賀県嘱託	歴史学者 福井県、滋賀県、堺市、北海道の郷土史編輯
S2	1927	3	26	赤穴 保	山口県＝	警察部地方警視警務課長兼巡查教習所長
S2	1927	3	26	柏 四郎九	広島県＝	内務部地方事務官 知事官房主事
S2	1927	3	30	日高 鑛一	呉海軍工廠砲煩部部員 海軍造兵中佐	のち海軍造兵中将、技術中将 工学博士
S2	1927	4	1	石崎 達二	京都烏丸頭大谷大学人文学研究室	立命館大学教授 中近世史 仏教史
S2	1927	4	2	原田 親	福岡県福岡師範学校教諭	英語科
S2	1927	4	4	長谷川 仲子		
S2	1927	4	4	あさ		同行
S2	1927	4	4	＝原 耕造		同行
S2	1927	4	4	堀江 乙雄		経済学者堀江帰一の実子

S2	1927	4	5	西 健		電気工学 東京帝国大学教授 理化学研究所主任 耐電圧研究
S2	1927	4	5	谷 安正		同行 応用物理学 東京帝国大学教授、富山県立大谷短大学長 電子顕微鏡の開発 応用物理学会会長
S2	1927	4	5	山下 英男		同行 東京帝国大学、東洋大学名誉教授 電子計算機の開発 情報処理学会初代会長
S2	1927	4	12	小平 初子	大阪毎日新聞社	
S2	1927	4	13	岩上 夫美雄	大阪府保安課長	奈良、岡山、愛知県警部長 警視庁警務部長 北海道総務部長 秋田県知事 弁護士
S2	1927	4	14	亀井 高孝	第一高等学校教授 渡欧に際し寸暇を利用して	のち教頭 清泉女子大学文学部教授 西洋史学
S2	1927	4	15	垂井 清右衛門	和歌山商業会議所 会頭 外七名	若山電灯株式会社創設 俳人 号:逸水
S2	1927	4	16	池田 寅二郎	司法省民事局長	東京地方裁判所検事 大審院院長
S2	1927	4	19	田寺 俊信	大分県知事	滋賀、石川県知事 姫路市長
S2	1927	4	20	張間 源四郎	朝鮮全羅南道内務部長	朝鮮史編集会委員
S2	1927	4	20	浅野 長之		侯爵 広島藩主浅野家当主 衆議院議員
S2	1927	4	20	浅野 望子		同行 長之の次女
S2	1927	4	20	張 南極	朝鮮水産会視察団 外六人	
S2	1927	4	20	許 基燁		同行
S2	1927	4	20	尹 英重		同行
S2	1927	4	20	羅 東漢		同行
S2	1927	4	20	吉永 貫一	群馬県社会教育主事	
S2	1927	4	20	平林 富丸	山形県社会教育主事	同行
S2	1927	4	21	田中 確一	秋田県教育主事	学務部社会教育主事
S2	1927	4	27	野口 雨情		童謡・民謡詩人 日本民謡協会理事長 本名:野口英吉 南座で講演
S2	1927	4	27	中山 晋平		同行 作曲家 日本音楽著作権協会会長 南座で演奏、佐藤千夜子の歌
S2	1927	4	27	市瀬 恭次郎	内務技官	土木局 土木工学者
S2	1927	4	27	片山 貞松	内務技師	同行 下関土木出張所所長 都市計画長崎地方委員会委員
S2	1927	4	27	伊藤 長右衛門	北海道庁技師	同行 小樽築港事務所長
S2	1927	4	27	三好 貞七	内務技師	同行 下関土木出張所
S2	1927	4	27	石野 長次郎		同行
S2	1927	5	2	南日 恒太郎		英語教育者 富山高等学校初代校長 小泉八雲の高弟南日隆次の兄
S2	1927	5	6	You = acoo Raineiry		
S2	1927	5	5	岡本 良知		歴史学者 キリシタン史 東西交渉史 別府女子大、亜細亜大、上智大学教授
S2	1927	5	6	木村 繁四郎		
S2	1927	5	10	武用 種吉		教育学
S2	1927	5	10	井上 敬道		比叡山延暦寺
S2	1927	5	12	本野 亨		電気工学者 電気照明・電気材料の研究
S2	1927			John D Sims		
S2	1927			Mrs. John D.Sims		
S2	1927			Elizabeth R.Towler		
S2	1927	5	15	高田 他家雄		保険医学 日本保険医学会会長
S2	1927	5	17	谷口 午二	鹿児島県立第一高等女学校 外百三十八名	洋画家 金羊会による南国美術展創設 鹿児島市立美術館初代館長
S2	1927	5	17	高橋 三郎	鹿児島県保安課長	茨城県保安課長 神奈川県警察部長 高知県知事
S2	1927	5	17	近藤 憲治	海軍少佐	のち海軍大佐
S2	1927	5	17	横山 常市	海軍造兵中尉	同行
S2	1927	5	17	伊達 勝一	全	同行
S2	1927	5	17	大門 悟	全	同行

S2	1927	5	17	住 正道		
S2	1927	5	17	原田 大八郎		
S2	1927	5	17	長谷川 久一	長崎県知事	同行 石川、和歌山、静岡県知事 東京府知事 警視總監 当日知事退任
S2	1927	5	17			外国人4名
S2	1927	5	19	川崎 利太	新潟県長岡女子師範学校 外十三名	教諭 新潟県立新津高等女学校長
S2	1927	5	19	山田 米一	京都帝国大学経済学部助手	
S2	1927	5	22	須川 彌作	九州帝国大学法文学部	フランス語学 翻訳家
S2	1927	5	22	藤沢 親雄	九大法文学部	同行 国家主義者 思想家 北京大学、大東文化学院大学、日本大学、国士館大学教授 大政翼賛会東亜局長
S2	1927	5	22	大石 恵直	地方事務官(静岡県)	同行 清水市長
S2	1927	5	22	村松 武定	静岡県属	同行
S2	1927	5	23	三輪 経治	佐世保海軍建築部長	
S2	1927	5	31	John Tilley		イギリス駐日大使
S2	1927	5	31	寺尾 濶一	東京清水組技師	
S2	1927	6	1	三浦 武美	外務事務官	アジア局第2課長 満州国駐支公使
S2	1927	6	3	佐藤 省三	新潟県中蒲原郡	
S2	1927	6	3	五十嵐 文二		同行
S2	1927	6	3	三原 穂谷		対馬出身の日本画家 本館で絵画展(4~5日)開催のため来館。
S2	1927	6	3	中澤 亮治	台湾総督府中央研究所技師	酒類・酒類製造の研究 財務局醸造科長、工業部長 台北帝国大教授 発酵研究所初代 所長